

平成 27 年 4 月 11 日

エコキャップ活動の透明性向上について

～NPO法人エコキャップ推進協会を巡る報道を受けて～

株式会社ウッドプラスチックテクノロジー（本社：東京都文京区）は、平成 27 年 4 月 1 日より NPO 法人エコキャップ推進協会の回収受付先として、新たに回収活動を開始したところでした。わずか 10 日の間にもエコキャップ活動に参画されている個人・団体からエコキャップを多数受け入れました。

弊社は、従来より再生プラスチックを原材料として使用しており、エコキャップ活動で回収されたプラスチックの材料としての有用性は利用者として高く評価しておりました。また、ボランティアで集められたキャップが、弊社が再生プラスチック業者に御支払した購入代金の一部が、NPOエコキャップ推進協会を通じて、ワクチン寄付、東日本大震災への義援金、障がい者支援に使われるということで良い社会貢献活動としても評価しておりました。

今回の報道以前より、エコキャップを回収する意義が各所で議論されておりますが、ゴミの減量によるゴミ処理の社会的費用削減、資源再利用による二酸化炭素排出量削減、ワクチン、災害義援金・障がい者支援という社会貢献活動の支援を考えると、弊社は、「エコキャップ活動」自体は、非常に意義のある活動と評価しております。それにもかかわらず、エコキャップの回収率が低い状態であるのは、やはり、個人が宅配便で送る非効率性や、ワクチン代への寄付、回収したプラスチックの利用形態が見えにくいという課題があると感じておりました。

また、「世界の子どもたちにワクチンを日本委員会」とエコキャップ推進協会のやり取りや、エコキャップ推進協会の寄付をめぐるやり取りは、昨年末からホームページに掲載されており、今回、弊社が回収受入先となる検討をした時点でも公開されておりました。そのため、エコキャップ推進協会にも確認をし、東日本大震災やエコキャップ回収・分別作業の障がい者雇用支援との連携動や、「国境なき医師団」などを通じた寄付予定もされることも伺っており、新たな回収受入業者としての協力を決めた次第です。

今回の報道を受けて、NPOエコキャップ推進協会の運営には、参加者への説明を尽くしていたかなど問題があったと思います。しかし、「エコキャップ活動」が非常に社会的意義のある取り組みであることは確かです。回収率の一層の向上のため、特に、売却益から寄付をする方法や寄付先の選定に透明性を確保する必要があるのではないかと思います。弊社は、エコキャップの分別活動を行う一団体として、エコキャップを購入する製造業者として、新たに活動をはじめた回収受入窓口として、NPOエコキャップ推進協会に寄付の確実な実施、透明性の確保などの対策を働きかけていきます。

引き続き、ペットボトルキャップの分別・回収活動へのご理解、ご協力を頂ければ幸いです。

株式会社ウッドプラスチックテクノロジー 代表取締役 中山東太

●お問い合わせ（エコキャップの回収、ウッドプラスチック製品について等）

株式会社ウッドプラスチックテクノロジー 東京本社 TEL 03-5844-3366
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-1-7 近江屋第二ビル 4F